＊ 国語国字問題Q＆A（1） ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

なぜ「ひらがな」でなく、「カタカナ」なのか

ユズリハ サツキ

Q カナモジカイは、なぜ「ひらがな」専用で なく、「カタカナ」専用を となえて いるの ですか？

A ヒラガナは、漢字の 草書から 発達しました。そして、フデを つかって、タテに ならべやすい ように、また、ソレゾレの 文字が ツリアイの とれる ように みが きあげられて きました。したがって、ヒラガナは 1文字 1文字の 独立性が つよ い ため、漢字と イッショに つかうには 問題ありませんが、ヒラガナ ばかりで ヨ コに ならべた バアイ、よみにくく なります。

カタカナは、漢字の 一部分から できた もの です。シタに しめした ように、〈イ〉は 〈伊〉の 偏、〈ヌ〉は 〈奴〉の ツクリ です。このように 1文字 1文字が 単純な 線で くみたてられて います。したがって、ヨコに 2文字 3文字と つづけた バアイ、それらが くみあわさって 語と して まとまる チカラが、 ヒラガナに くらべて すぐれて います。

以 → 〈以の草書〉 → い
奴 → 〈奴の草書〉 → ぬ　　いぬ

伊 → イ
奴 → ヌ　　イヌ

その カタカナの 特性を いかす ための 書体が カナモジ研究家に よって 設計されて きました。これらは、カタセン（肩線）（「ア、カ、サ」 などの ウエの ヨコ線）を そろえ、ソレゾレの 個性を いかして デザインされて おり、これまでの 明朝体などの カタカナに くらべて、はるかに 語形が つくりやすく なって います。 この 文章で つかって いる カタカナは、それらの うちの ヒトツで、「アラタ」と

いう 書体 です。（【比較】 明朝体:「アサヒ」 アラタ:「アサヒ」）

ここでは、この「アラタ」を つかって ヒラガナと カタカナの 文章の 比較を して みましょう。（文例は「世界人権宣言」第１条）

すべて の にんげん は、 うまれながら に して じゆう で あり、かつ、 そんげん と けんり と に ついて びょうどう で ある。にんげん は りせい と りょうしん と を さずけられて おり、 たがいに どうほう の せいしん を もって こうどう しなければ ならない。

スベテ ノ ニンゲン ハ、 ウマレナガラ ニ シテ ジユウ デ アリ、 カツ、ソンゲン ト ケンリ ト ニ ツイテ ビョウドウ デ アル。 ニンゲン ハ リセイ ト リョウシン ト ヲ サズケラレテ オリ、 タガイ ニ ドウホウ ノ セイシン ヲ モッテ コウドウ シナケレバ ナラナイ。

よみくらべて、ヒラガナ文の ホウが よみやすいと カンじた ヒトも すくなくない かも しれません。それは、ナレの 問題 です。文章を よむ ときに １字ずつ よむのと 語形で ヒトメで わかるのと では 能率が まったく ちがいます。英語など でも 単語は、１字 ずつ よんで いるのでは なく、語形で 理解しているの です。カタカナの 文章に なれれば、カタカナの 語形を つくる チカラによる ヨミヤスサを 実感される こと でしょう。

カナモジカイの 伝統的な 理論に したがえば、ウエの ように オコタエすることに なります。が、現実には、ワタシタチは、ヒラガナ専用論を 排除してはいません。漢字の 不便や 害を なくす ため、カタカナを よしと する ヒトも、ヒラガナを よしと する ヒトも、ともに テを たずさえて 運動して います。

※ この 文章は、『カナモジ ハンドブック』（「カナモジ ケンキュー グループ」発行（絶版））に おさめられた「カタカナ: ヒラガナ: ローマ字ノ 比較」を もとにし、ワタクシの カンガエを かきくわえた もの です。